

那智勝浦町立太田小学校で防災授業を実施しました

大規模土砂災害対策技術センター

大規模土砂災害対策技術センターでは、土砂災害に対する地域防災力を向上させるため、義務教育世代を対象にした防災教育の取り組みを進めています。

今回は那智勝浦町立太田小学校の児童を対象に、土砂災害の仕組みや地形・地質について、見て・触って・学ぶ授業を実施しました。児童は集中して授業を受け、模型実験では水が土砂を運ぶ様子を観察するなど土砂災害について熱心に学習していました。

今後も、地域に防災教育が定着するよう、学習計画等について検討を進めていきます。

主催

大規模土砂災害対策技術センター

日時

平成30年1月12日(金)13時40分～14時20分

場所

那智勝浦町立太田小学校

参加者

那智勝浦町立太田小学校 4・5・6年生 23名

那智勝浦町教職員 5名

■ 参加した皆さんの声 ■

- 水の力で土砂が運ばれる様子がよく分かった
- 岩が思っていたよりも簡単に砕けて驚いた
- 普段から、周囲の地形等に気をつけてみようと思った
- 映像による事前学習の復習が出来て、分かりやすかった



授業開始の挨拶



座学の様子。土砂災害の仕組みについて学習



岩石の風化を実際に手で岩を砕いて体験



実験で土石流が扇状地を形成することについて学習

【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
(和歌山県土砂災害啓発センター2F) TEL 0735-55-0820

